

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 18 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和5年12月6日	<p>【請願趣旨】 長引く物価高により、中小業者、国民の経営と生活は困難を極めている。ガソリンや電気代の高騰は日常生活やあらゆる経済活動の足かせとなっている。私たちが街頭で取り組んでいる消費税減税を求める宣伝行動では「食料品の値上がりやガソリンの高騰で生活が大変、もうこれ以上削るところもない」「年金だけでは、暮らしていけない」「せめて消費税を5%に下げてほしい」など切実な声が寄せられている。</p> <p>政府は、物価対策として所得税、住民税の減税を掲げている。しかし来年6月に実施予定など、スピード感はまるでなく、非課税世帯など減税の影響が及ばない人が約1,000万人に上る。経済の専門家からは、経済効果を重視するなら食料品の消費税をゼロにするべきだ、という意見が出ている。消費するたびに恩恵が及ぶため、景気の引上げにつながることや低所得者への支援にもなる。既に世界では108の国や地域で日本の消費税に当たる付加価値税の減税に踏み出している。時事通信の世論調査では消費税減税に「賛成」との回答が57.7%に上っている。様々な世論調査で消費税減税への期待の声が集まっている。国民の暮らしを支えることへの願いを込め、以下の事項を請願する。</p>
件 名	緊急経済対策として「消費税率を5%に引き下げを求める」意見書を政府に送付することを求めることについて	
請 願 者 所 名 住 氏		
紹 介 議 員	中山 和 行 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		<p>【請願項目】 緊急経済対策として「消費税率を5%に引き下げを求める」意見書を政府に送付すること</p>

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 19 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和5年12月6日	【請願趣旨】 2023年10月多くの不安や反対の声が高まる中で、事実上の消費税の増税につながるインボイス制度が導入された。物価高に苦しむ事業者に新たに1兆円に上る消費税負担や事務負担が押し付けられる。その結果、価格が上昇し消費者にも影響が及ぶことになる。 既に中小企業の経理担当者からは、「新たな実務負担が増えた、残業しても追いつかない。そもそも制度がよく分からない」飲食店では「インボイスが出せないなら10%分値引きしろ」と迫られた、制度について質問するためコールセンターに電話しても、いつ電話しても話し中でつながらない、税務署とコールセンターで説明が違うなどの声も出されている。フリーランスの会の調査では「廃業や退職」を含め、約7割がマイナスの影響を受けると応えている。このようにインボイス制度は適正な課税どころか現場に混乱を生じさせるだけの制度になっている。消費税の申告、納税の実務は、「記帳方式」で十分に対応できていた。インボイス制度の導入で令和5年度分の確定申告が不安との声が大きく広がっている。このような制度は即時に中止すべきと考え以下の事項を請願する。 【請願項目】 インボイス制度の中止を求める意見書を政府に送付すること
件 名	「インボイス制度の中止を求める」意見書を政府に送付することを求めることについて	
請 願 者 所 住 氏 名		
紹 介 議 員	中山 和 行 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		